



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和7年2月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年2月17日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 市民の健康づくりや安全安心なまちづくりを推進するため
株式会社富士薬品と包括連携協定を締結します(資料1)
- 2 高校生が主体となって企画運営をする「しぶかわ高校合同説明会」が
開催されます(資料2)
- 3 しぶかわ電子地域通貨「渋Payポイント還元キャンペーン」を
3月10日(月)から実施します(資料3)
- 4 渋川市公式LINEで要介護・要支援認定の審査会予定日が照会できます
(資料4)
- 5 渋川駅前広場に共生社会シンボルマークのフラッグを掲出しました(資料5)

○次回開催予定

日時：令和7年2月25日(火) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
2月17日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00 終了後	(株)富士薬品との包括連携協定締結式 市長定例記者会見	市役所本庁舎 市役所本庁舎	政策戦略課 広報室
	18:00	北群馬しんきん会新年会	プレヴェール渋川	秘書室
2月18日(火)	9:30	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
	11:00	叙勲伝達	市内	秘書室
	14:00	インターネット上の誹謗中傷等対策及びリテラシー向上のための講演会	金島ふれあいセンター	危機管理室
	16:00	渋川市と群馬県農業経営士協議会渋川支部との意見交換会	市役所第二庁舎	農政課
2月19日(水)	13:00	渋川・北群馬地区更生保護女性会第二ブロック薬物乱用防止報告会	金島ふれあいセンター	地域包括ケア課
	14:00	渋川郷学堀口藍園顕彰展開催セレモニー	市役所本庁舎	生涯学習課
	17:00	第24回全国小学生ソフトテニス大会並びに第36回都道府県対抗全日本中学生大会出場報告	市役所本庁舎	スポーツ課
2月20日(木)	10:00	広域組合2月組合議会定例会	渋川市勤労福祉センター	広域組合
2月21日(金)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
2月22日(土)				
2月23日(日)	12:45	中央公民館演技発表会	中央公民館	中央公民館
	13:30	自衛隊入隊予定者激励会	市役所本庁舎	危機管理室
	14:00	金井生産森林組合第70回通常総会	金島ふれあいセンター	環境森林課
2月24日(月)				
2月25日(火)	13:00 終了後	「広報しづかわ」新タイトルロゴ選定に係る感謝状贈呈式 市長定例記者会見	市役所本庁舎 市役所本庁舎	広報室 広報室
	16:00	定例会打合せ	市役所本庁舎	総務課
	18:30	第19回渋川市民スポーツ祭第4回実行委員会会議	ホワイトパーク	スポーツ課

市民の健康づくりや安全安心なまちづくりを推進するため 株式会社富士薬品と包括連携協定を締結します

渋川市は、株式会社富士薬品との包括的な連携協定を締結します。
この協定により、市民の健康づくりや安全で安心なまちづくりに向けた取り組みを推進し、更なる地域の発展と市民サービスの向上を図ります。

1 趣 旨

株式会社富士薬品は、「とどけ、元気。つづけ、元気。」のスローガンのもと、ひとの元気な暮らしを支え続けることを使命に掲げ、地域の人々の生活に寄り添う良質なサービスの提供に努めています。

また、昨今は、地方自治体が取り組む地域住民の安心・安全な暮らしや健康づくりを、配置薬販売をはじめとする富士薬品の事業活動を通じて支援できると考え、地方自治体との連携協定を推進しています

この度、渋川市は、株式会社富士薬品と、相互の連携を強化し、市民の健康づくりや安全で安心なまちづくりに資することを目的として、協定を締結します。

この協定により株式会社富士薬品には、渋川市の事業に関する市民向けの周知や案内へ協力を行うほか、災害時における避難所への医薬品の無償提供、運営店舗内へのクーリングシェルターの設置等を行い、市民の健康づくりや安全で安心なまちづくりに協力していただきます。

2 協定締結式の開催

(1) 日 時 令和7年2月17日(月) 午後1時から

(2) 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

(3) 内 容

ア 開 会

イ 出席者紹介

ウ 協定締結

エ あいさつ

オ 質疑応答

カ 記念撮影

キ 閉 会

(4) 出 席 者

■株式会社富士薬品

配置事業本部 配置管理統括部 企画推進部

次長 田中 篤(たなか あつし) 様

配置事業本部 配置営業統括部 営業部

課長 船岡 友則(ふなおか とものり) 様

■渋川市

市 長 高木 勉

副 市 長 伊勢 久美子

総合戦略部長 鴻田 吉史

3 連携事項

- (1) セルフメディケーションの強化に関すること
- (2) 共生社会の実現に関すること
- (3) 健康づくりの推進に関すること
- (4) 高齢者等の見守りサービスに関すること
- (5) 災害時における医薬品の供給協力その他、防災・災害対策に関すること
- (6) 気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に関すること
- (7) 道路保全に関すること
- (8) その他、甲乙協議の上、本協定の目的を達成するため必要と認めること

4 その他

株式会社富士薬品は、県内ではみどり市と連携協定を締結し、各種連携事業に取り組んでいます。渋川市は県内2例目、国内16例目の締結先となります。

参考

1 株式会社富士薬品について

富士薬品は、1930（昭和5）年、富山県富山市において配置薬販売業をスタートしました。現在は、配置薬販売事業に加えて、ドラッグストア・調剤薬局事業、医薬品製造事業、医薬品研究開発事業、医療用医薬品販売事業を展開する複合型医薬品企業となっています。

スローガン「とどけ、元気。つづけ、元気。」のもと、グループ全体で日本全国に1,271店（2024年3月末時点）を展開する「セイムス」ブランドを中心としたドラッグストアと、全国に広がるラストワンマイルを埋める配置薬販売ネットワーク、そして医療用医薬品の研究開発力を生かし、誰もが豊かな人生を送れる社会の実現に向けて、人々の暮らしのあらゆる場面で寄り添い、元気な生活を支え続けています。

2 渋川市のこれまでの連携協定先一覧

番号	業 者 名	年度	締結年月日	内 容
1	学校法人学文館上武大学	H28	H28. 10. 26	包括
2	北群馬信用金庫	H28	H28. 10. 31	包括
		H30	H30. 8. 27	地域見守り活動等
3	株式会社群馬銀行	H28	H28. 11. 14	包括
4	日本郵便株式会社	R 2	R 3. 1. 25	包括
5	学校法人昌賢学園群馬医療福祉大学・短期大学部	H29	H29. 7. 7	包括
6	東電タウンプランニング株式会社群馬総支社	H29	H29. 11. 22	地域貢献型電柱広告
7	群馬ヤクルト販売株式会社	H30	H30. 6. 7	包括
8	株式会社クレディセゾン	R元	H31. 4. 5	包括
9	第一生命保険株式会社	R元	R元. 11. 5	包括
10	明治安田生命保険相互会社群馬支社	R 2	R 2. 8. 21	包括

番号	業 者 名	年度	締結年月日	内 容
11	東日本電信電話株式会社 群馬支店	R 2	R 3 . 3 . 1	包括
12	大塚製薬株式会社ニュートラ シューティカルズ事業部	R 3	R 3 . 7 . 19	包括
13	フォレストエナジー株式会社	R 3	R 3 . 8 . 10	包括
14	株式会社東和銀行	R 3	R 3 . 11 . 29	包括
15	あいおいニッセイ同和 損害保険株式会社	R 4	R 4 . 5 . 23	包括
16	株式会社北関スクリーン	R 4	R 4 . 7 . 25	包括(ドローン活用)
17	サントリーグループ	R 4	R 5 . 3 . 23	包括
18	ぐんまみらい信用組合	R 5	R 5 . 5 . 8	包括
19	株式会社山田製作所	R 5	R 5 . 6 . 28	包括(UM・エコ・ プロジェクト)
20	住友生命保険相互会社	R 5	R 5 . 7 . 31	包括
21	グラクソ・スミスクライン 株式会社	R 5	R 6 . 2 . 5	包括

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：政策戦略課 (電話0279-25-8419)

課長 小野 篤史 (内線2420)

未来戦略係長 齋藤 大輔 (内線2423)

資料2

高校生が主体となって企画運営をする 「しぶかわ高校合同説明会」が開催されます

高校生が主体となって企画運営を行い、渋川市内の高等学校4校の魅力を小中学生やその保護者に伝える「しぶかわ高校合同説明会」が、3月23日(日)に渋川市役所第二庁舎で開催されます。

1 概 要

高校生自らが主体となって企画運営する「しぶかわ高校合同説明会」が開催されます。

この説明会は、渋川市在住または渋川市内の高等学校に通学する高校生が中心となり実行委員会を立ち上げ、これまで個々に学校主催で行われていた高等学校の説明会とは別に、市内高等学校4校の生徒が一堂に会し合同で行うことで、各校の特徴や魅力を若者の視点から小中学生やその保護者に伝えるものです。

実施にあたっては、渋川市内の高等学校への進学率を高めることが期待されるほか、主体的に地域課題の解決に取り組む人材の育成に寄与するものであり、渋川市の教育の振興に資する取り組みとして、「しぶかわ未来共創推進事業補助金」の交付を受けて実施されます。

2 日 時 令和7年3月23日(日) 午前10時～正午、午後1時～4時

3 会 場 渋川市役所第二庁舎及び渋川公民館（渋川市石原6番地1）

4 参加高校 群馬県立渋川高等学校、群馬県立渋川女子高等学校、
群馬県立渋川青翠高等学校、群馬県立渋川工業高等学校

5 内 容

(1) 高校生による高校紹介ブース

渋川市役所第二庁舎の会議室を1校につき1室利用し、それぞれの高校ならではの学び、日常生活、部活動、学校行事等について、高校生の生の声を聴くことができる高校紹介ブースを展開します。

※201会議室：渋川高校、202会議室：渋川女子高校、
203会議室：渋川青翠高校、204会議室：渋川工業高校

(2) 部活動発表ブース

渋川公民館の講堂を会場に、各部活がパフォーマンスを披露します。

【出演予定】

- ・吹奏楽部（渋川高校、渋川青翠高校）・ギターマンドリン部（渋川女子高校）
- ・コーラス部（渋川女子高校）・和太鼓部（渋川青翠高校）

※出演する部活及びタイムスケジュールは調整中。

6 入 場 料 無料

7 参加方法 Googleフォームから
※事前申込みがなくても当日の参加も可能です

8 主 催 渋川市高校合同説明会実行委員会

9 周知方法

- ・渋川市公式ホームページ、広報しぶかわ3月号、SNSへの情報掲載
- ・チラシ配布

10 記者会見出席予定者

- ・実行委員長 堀口 泰生（ほりぐち たいせい）さん／渋川高等学校3年
- ・実行委員 針塚 菖元（はりづか しょうげん）さん／渋川高等学校3年
- ・実行委員 君島 希佳（きみじま ののか）さん／渋川女子高等学校3年
- ・実行委員 千明 俊太（ちぎら しゅんた）さん／ユースセンターよはく事務局長

参考

1 渋川市高校合同説明会実行委員会について

渋川市内の高等学校4校の魅力を伝え、地域全体の教育活性化をするために、渋川市在住または渋川市内の高等学校に通学する高校生を中心に活動する実行委員会。

4校12人の高校生と、高校生以上の世代が集う場所「ユースセンターよはく」の運営者が在籍している。

2 しぶかわ未来共創推進事業補助金制度を活用した今後実施予定の事業

- ・女性の為のシンポジウム（令和7年2月23日（日））
- ・合理的配慮について考えるセミナー（令和7年3月3日（月））
- ・Let'sお仕事体験（令和7年3月30日（日））

※詳しくは、市ホームページ（https://www.city.shibukawa.lg.jp/shisei/seisaku_keikaku/chihousousei/p011292.html）をご覧ください

市ホームページはこちら▶



3 しぶかわ未来共創推進事業補助金の令和6年度実績

- ・なないろのMORI子育て講演会（令和6年10月12日）
- ・講演会「インクルーシブな社会を築き、共生社会の構築実現の第一歩を」（令和6年10月14日）
- ・アミューズマーケットin SHIBUKAWA（バランスボールエクササイズ体験講習会）（令和6年11月17日）
- ・『みんなの学校』木村泰子先生講演会（令和6年12月14日）
- ・映画『ノルマル17歳。ーわたしたちはADHDー』の鑑賞と多彩なゲストとのフリーディスカッション（令和6年12月14日）

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

高校生による
小中学生のための

しぶかお

高校合同説明会

～渋川市の4つの高校の魅力を知ろう～

「どこの高校に行ったらいいだろう？」

そんな悩みや疑問を持っていませんか？

このイベントは、渋川市内4つの高校の
魅力を、高校生から直接聴けるチャンス!!

各高校のブースを回るという新しい形の
説明会を体験し、高校進学について
考えてみませんか？



日程

3/23 日

場所 渋川市役所第2庁舎

(住所)群馬県渋川市石原6-1

時間

10:00～12:00

13:00～16:00

※当日は屋上からお入りいただくと
スムーズに見学していただけます
※駐車場は渋川市役所第二庁舎を
ご利用ください

※下記QRコードより事前申し込み
ご協力お願いいたします
(当日参加も可能となっています)



主催 しぶかお高校合同説明会実行委員会(全員高校生)

後援 渋川市 渋川高校 渋川工業高校 渋川女子高校 渋川青翠高校

事務局 ユースセンターよはく (担当) 千明 070-3297-0605

渋川高校



渋川高等学校、通称 "渋高" は、今年度で創立104周年を迎える、希少な男子校です。渋高では、校歌の冒頭にもあるように、「自由の子」という考え方が尊重されており、それは授業や部活動、学校行事など様々な場面で発揮されています。このイベントでは渋高の魅力について楽しく学べるゲームなど「渋高に入りたい!」と感じさせる様々な展示物があるのでぜひ! 足をお運びください!

渋川女子高校



渋川女子高校は文武両道を目指す生徒が多く通う、創立105年を迎える女子校です。この説明会では何事も全力で取り組み、高校生活を謳歌している渋女生から直接学校や高校生についてのお話を聞けたり、渋女のこともっと知れちゃう展示物が盛りだくさんです! 生徒も先生も優しく、新しいことにたくさんチャレンジできる渋女魅力をぜひ体感しに来てください!

渋川青翠高校



渋川青翠はこの地域で唯一の総合科で自分のやりたい分野を学ぶ事ができます。介護士やスポーツ、料理など副教科から、進学やビジネスの勉強など将来選択を多く広げることのできる学校です。勉強だけでなく部活にも力を入れています。スポーツはもちろん吹奏学部や和太鼓部、食物部など様々な部活動があります。青翠からは、吹奏楽部と和太鼓部が出ます。吹奏楽部の素晴らしい演奏と、和太鼓部の迫力ある演奏をご期待ください。

渋川工業高校



渋川工業高校は北毛地区唯一の工業高校であり、専門的な知識や技術を座学だけでなく実技を通して学ぶことのできる学校です。ものづくりを通じ幅広く工業を学ぶ機械科、県内唯一、自動車整備士免許取得を目指し学ぶ自動車科、電気工事士など多くの国家資格取得に向け学ぶ電気科、IT時代での活躍を目指しパソコン技術などを学ぶ情報システム科の四つの科があり、他校にはない特色ある部活動や資格取得に力を入れ個性を大事にする学校です。

～4つの高校のステージ企画実施～

会場: 渋川市役所第2庁舎内の渋川公民館

- ・吹奏楽部(渋高、青翠) ・和太鼓部(青翠)
- ・ギターマンドリン部(渋女) ・コーラス部(渋女)

各部のパフォーマンスを是非見に来てください!!



最新情報はユースセンターよはくのInstagramから随時更新します!
ぜひチェックしてみてください!!



資料3

しづかわ電子地域通貨「渋P a y ポイント還元キャンペーン」 を3月10日(月)から実施します

渋川市は、長引く物価高騰による影響を受けている生活者及び事業者を支援し、市内経済の循環を図るため、令和7年3月10日(月)から「渋P a y ポイント還元キャンペーン」を実施します。

1 概 要

長引く物価高騰による影響を受けている生活者及び事業者を支援するとともに、市内経済の循環を目的として、「渋P a y ポイント還元キャンペーン」を実施します。今回のキャンペーンは、期間中「渋P a y」でお買い物などをすると、支払額の最大10%分のポイントをその場で還元します。さらに、渋川市内の事業者が運営する加盟店の場合は、10%分のポイントを加算した最大20%分のポイントを還元します。

また、今回のキャンペーンから、「渋P a y」の利便性の向上を目的に新たなチャージ方法として、銀行口座から直接チャージができる「B a n k P a y (バンクペイ)」の利用を開始します。

2 キャンペーン期間 令和7年3月10日(月)午前9時～6月30日(月)午後11時59分
※還元ポイントが予算上限に達し次第、キャンペーンは終了となります

3 ポイント還元方法

登録加盟店で会計時に渋P a yで支払いをした場合、支払額の最大10%分のポイントを即時に還元します。さらに、渋川市内の事業者が運営する加盟店で支払いをした場合は、10%分のポイントを加算して最大20%分のポイントを還元します。

専用アプリ、専用カードどちらの決済方法でも対象になります。

※本キャンペーンにより還元されたポイントによる支払いは、キャンペーンの対象になりません

4 ポイント還元上限 期間中1人1万ポイントまで還元します

5 キャンペーン予算額

予算額は、ポイント還元分で1億円です。

※期間中のキャンペーン利用状況は、市ホームページ及び市公式LINEで随時お知らせします

6 ポイント有効期限

還元ポイントの有効期限は、令和7年8月31日(日)までです。

※チャージ(購入)したポイントの有効期限は、発行日から2年間です

7 チャージ（購入）方法

専用アプリ、専用カードともに全国のセブンイレブン等に設置されているセブン銀行ATMからチャージ（購入）ができます。

専用アプリは、クレジットカードからのチャージが可能です。さらにキャンペーンの開始に合わせて、銀行口座から直接チャージ（Bank Pay）することができるようになります。

※キャンペーン期間中でも、チャージ時の「クレジットカードチャージポイント（0.5%）」、「セブン銀行ATMチャージポイント（1.5%）」は付与されます。また、新たに「Bank Payチャージポイント（1.0%）」が付与されます

※すでに持っているポイントもキャンペーンに利用できます（本キャンペーンポイントは対象外）

※専用アプリは、スマートフォンアプリ（chiica）のダウンロードが必要です

※専用カードを持っていない人は、DX推進課及び各行政センターの窓口で無償交付します

※紙製のカード（横型）を持っている人で、チャージ可能な専用カードに変更をしたい場合は、DX推進課の窓口へ身分証明書と紙製のカードを持参してお越しください

8 利用可能店舗

全ての渋Pay登録加盟店でポイント還元キャンペーンを利用できます。

※令和7年2月1日現在の登録加盟店数：354店（うち20%となる加盟店は約300店）

9 周知方法

- （1）広報しぶかわ3月号に掲載
- （2）市ホームページに3月1日から掲載
- （3）専用アプリユーザーにプッシュ通知配信
- （4）ポスター（還元ポイントが10%または20%であることを示す色違いのポスター）、チラシ、ステッカーを渋Pay加盟店に配布
- （5）SNS発信（X（旧Twitter）・市公式LINE・しぶかわほっとメール）

10 財 源 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

参考

1 令和5年度「渋Payポイント還元キャンペーン」実施状況

（1）実施期間

- ・第1弾：令和5年7月15日～9月30日
- ・第2弾：令和5年11月1日～12月30日

※第2弾の実施期間は、令和6年3月15日までであったが、予算上限に達したため、早期終了

- (2) キャンペーン予算額
ポイント還元分で総額1億5千万円
- (3) ポイント還元上限（1人当たり）
 - ・第1弾：5,000ポイント
 - ・第2弾：2万ポイント

2 令和6年度「渋Payポイント還元キャンペーン」実施状況

- (1) 実施期間
令和6年4月1日～5月21日
※実施期間は、令和6年8月31日までであったが、予算上限に達したため、早期終了
- (2) キャンペーン予算額
ポイント還元分で総額1億円
- (3) ポイント還元上限（1人当たり）
1万ポイント

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）

担当：DX推進課（電話0279-25-8414）

課長 小林 悟（内線2450）

DX・改革推進係長 後藤 晃秀（内線2443）

渋川市公式LINEで要介護・要支援認定の 審査会予定日が照会できます

渋川市は、介護サービス事業者の利便性の向上と介護保険業務の効率化を図るため、令和7年2月18日(火)から、24時間照会が可能な市公式LINEを活用した要介護・要支援認定の審査会予定日の照会を始めます。

1 概 要

従来、要介護・要支援認定に係る審査会予定日の確認については、介護サービス事業者等から、介護保険課へ電話で照会する方法がとられてきました。しかし、この方法では、事業者等からの照会時間が市役所開庁時間内に限られてしまうことや、電話だと遠慮して照会件数を最小限に留めてしまうなどの意見がありました。また、市の担当者が電話照会に対応した件数を集計した結果、1日平均20件、約1時間の業務時間を費やしていたことが分かりました。

このことから、介護保険サービス利用者と事業者等の利便性の向上及び介護保険業務の効率化を目的とするとともに、渋川市DX推進方針の一つである行政手続きのオンライン化の推進及び業務効率化・業務改善の推進を図るため、24時間照会が可能な渋川市公式LINEを活用した要介護・要支援認定に係る審査会予定日照会の運用を開始することになりました。

審査会予定日の確認が渋川市公式LINEで行えることにより、介護支援専門員のケアプラン作成や関係機関との日程調整などがスムーズに行えるようになります。

2 利用対象者

介護サービス事業者（居宅介護支援事業所、介護保険施設、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所、特定施設入居者生活介護事業所等）、地域包括支援センターの担当者

※市内62カ箇所の事業所を含む渋川市を保険者とする介護保険被保険者の担当者等

3 利用開始日 令和7年2月18日(火)

※運用開始後も、電話での照会にも対応します

4 照会できる項目 担当する被保険者の審査会予定日

※予定日のため変更になる可能性があります

5 利用の流れ

(1) 渋川市公式LINEから担当者の登録

渋川市公式LINEの「メインメニュー」画面から「申請」、「その他申請（事業者向け）」へ進み、文言に従って所属事業所等の名称と担当者氏名の登録を行います。※担当者登録は初回のみとなります

(2) 被保険者の審査会予定日を照会

渋川市公式LINEの「メインメニュー」画面から「申請」、「その他申請（事業者向け）」へ進み、文言に従って被保険者番号、生年月日を入力します。

- (3) 審査会予定日、申請日を閲覧
審査会予定日が決定されていない場合は「審査会予定日は未定です」と表示されます。
- (4) 続けて照会を行う場合は「続けて調べる」へ進む

6 周知方法

- (1) 市ホームページへ掲載
- (2) 渋川市内事業所・施設・地域包括支援センターへメールを送信
- (3) 事業所あてに「介護保険要介護・要支援更新認定の申請勧奨」の通知を郵送する際に案内を同封
- (4) 令和7年2月18日(火)に予定されている、渋川市内事業所等を対象とした介護支援専門員研修会で対面周知

7 群馬県内の他市の動向

群馬県内の自治体においては、館林市が令和5年度から同事業を開始しています。

参考

要介護・要支援認定に係る審査件数

- ・令和6年度 3,046件（令和7年1月31日時点）
- ・令和5年度 4,168件
- ・令和4年度 3,205件
- ・令和3年度 3,246件
- ・令和2年度 3,138件

■問い合わせ先

福祉部 部長 生方 清三郎（内線1200）

担当：介護保険課（電話0279-22-2116）

課長 小渕 正子（内線1230）

介護認定係長 佐野 郁子（内線1231）

居宅介護支援事業所・介護保険施設
小規模多機能型居宅介護事業所
認知症対応型共同生活介護事業所
特定施設入居者生活介護事業所 の皆さま

浜川市公式
LINE で

要介護・要支援認定の

審査会予定日が照会できます



これまで要介護・要支援認定の進捗状況についてお電話でお問い合わせいただいておりますが、審査会予定日につきましては浜川市公式LINEで確認ができるようになりました。

なお、照会結果はあくまで予定であり変更の可能性があることをご承知おきください。

開始時期：令和7年2月18日から

照会可能事項：審査会予定日

用意するもの：照会する被保険者の「被保険者番号」と「生年月日」

LINE 操作方法：

1 担当者登録を行います

浜川市公式LINEの「メインメニュー」→「申請」→「その他の申請（事業者向け）」→「介護認定照会」→「担当者登録」から文言に従い、担当者登録を行います。

（※担当者登録は初回のみとなります。）

2 担当する被保険者の審査会予定日を照会します

浜川市公式LINEの「メインメニュー」→「申請」→「その他の申請（事業者向け）」→「介護認定照会」→「介護認定審査会予定日の照会」から文言に従い審査会予定日を照会します。

【浜川市公式LINE画面イメージ】
「その他の申請（事業者向け）」 「介護認定照会」

【友だち登録二次元コード】



- ※ 電話によるお問い合わせも引き続き対応いたします。
- ※ 照会できるのは御担当者様に限らせていただきます。
- ※ 本照会はインターネットを活用して行いますので、被保険者の了解のうえ行ってください。

お問い合わせ 浜川市役所介護保険課介護認定係 ☎0279-22-2116

資料5

渋川駅前広場に共生社会シンボルマークのフラッグを掲出しました

J R 渋川駅前広場のリニューアル工事に合わせて新たに設置したフラッグポールに、「共生社会実現のまち 渋川市」のシンボルマークのフラッグを掲出しました。今後、このフラッグにより、渋川市の共生社会実現に向けた取り組みを、市民や観光客にPRしていきます。

1 概 要

現在、J R 渋川駅利用者の利便性向上を図るため、J R 渋川駅前広場のリニューアル工事を行っています。これに合わせて、渋川市の鉄道の玄関口である J R 渋川駅を利用する市民や観光客に対し、渋川市の取り組みを広く周知することを目的に、広場内照明灯にフラッグポールを設置しました。

この度、渋川市が進める共生社会実現に向けた気運を更に高めるため、共生社会シンボルマークのフラッグを掲出しました。

2 掲出期間 令和 7 年 2 月 14 日 (金)～
※他のイベントフラッグ掲出時を除く

3 掲出数 20枚

4 フラッグのサイズ等

- (1) 寸法 650mm×450mm
- (2) 素材 ターポリン

5 経 過

- ・令和 6 年 12 月 6 日
渋川駅前広場にフラッグポールを新設
- ・令和 6 年 12 月 24 日～令和 7 年 1 月 30 日
第 79 回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会のフラッグ掲出
- ・令和 7 年 2 月 14 日～
共生社会シンボルマークのフラッグ掲出



参考

1 「共生社会実現のまち 渋川市」

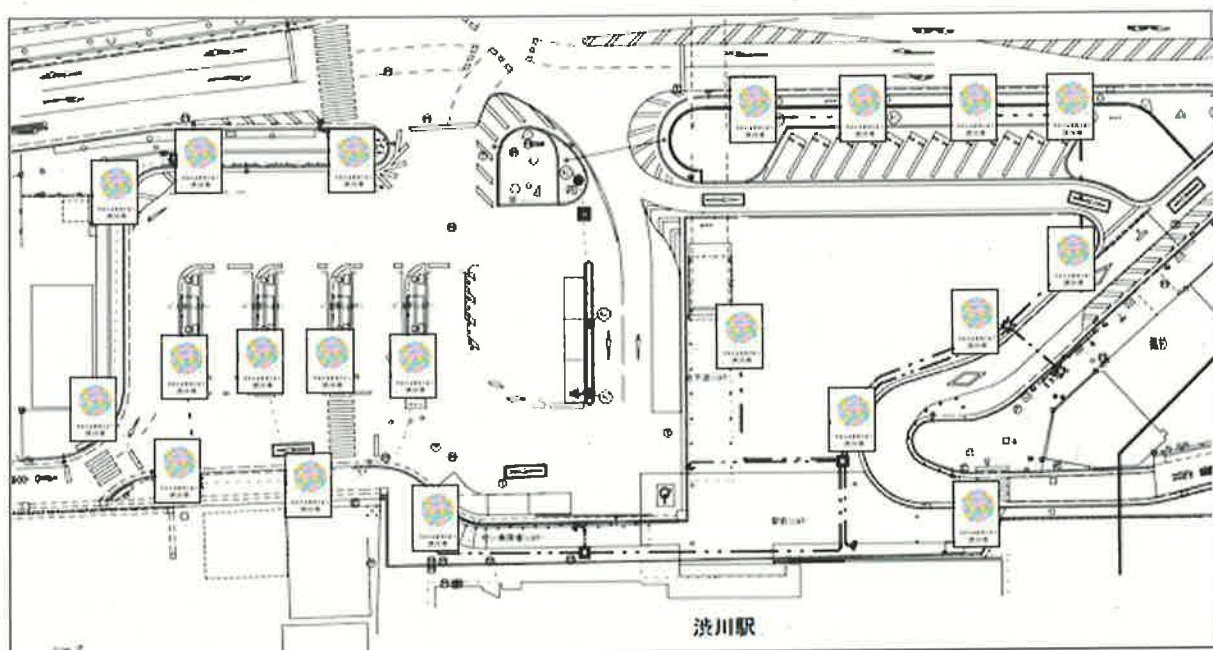
共生社会とは、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが自分らしく生き生きとした人生を送ることができる社会です。

渋川市は、東京2020オリンピック・パラリンピックに際して、令和元年10月11日に「共生社会ホストタウン」に登録されたことを契機に、共生社会推進の取り組みを加速させ、「共生社会実現のまち 渋川市」を目指しています。

2 共生社会の実現に向けた主な取り組み

- (1) 心のバリアフリーセミナー（DE T研修等）を、市民や市内の希望する小中学校、事業者、団体及び職員を対象に実施し、心のバリアフリーを促進しています。
- (2) 渋川・伊香保温泉バリアフリーマップを作成し、障害の有無に関わらず誰もが伊香保の温泉街を散策できるよう、ユニバーサルツーリズムの推進に取り組んでいます。
- (3) 共生社会推進パンフレット「みんなでつくろうやさしい渋川」を作成し、市内の学校に配布することで、ユニバーサルデザインについての理解促進を図っています。

3 フラッグ掲出場所



■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）